

# 新城設楽普及だより

令和4年 新春号

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市字石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通) shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

## 新年の御挨拶

新年にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症により影響を受けている皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年の農業は、お盆を挟んで8月の長雨による影響、原油価格高騰による資材・飼料価格の上昇は幅広い品目で発生し、先が見通せない状況にあります。

こうしたなかで昨年は、新城・設楽地域の農業振興、農業者の方々を支援するため、令和7年度を目標とする「普及指導基本計画」を策定しました。特徴のひとつは「担い手の確保と育成」を重視していることでもあります。また、「基幹経営体の育成」を図るために、地域実態に即した支援・提言などとともに、普及職員一人一人が関係団体・行政等との連携強化をすすめ、「技術伝承と革新、人づくりによる特色ある奥三河の農業」の実現にむけて努めてまいります。

本年も協同農業普及事業の運営に御理解と御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

課長

鶴田 正一

## 新規認定された青年農業士の御紹介

令和3年11月30日(火)に、愛知県庁にて、青年農業士の認定式が開催されました。新城設楽地域からは新城市4Hクラブ員の2名の方が、大村愛知県知事の青年農業士の認定を受けました。これからも地域農業の発展や地域づくり活動に寄与することを期待します。

・鈴木 雅貴氏

・新城市

・施設野菜

(ホウレンソウ)



・中谷 一基氏

・新城市

・施設野菜

(イチゴ)



# (公)農林業公社しんしろ あいちアグリアワード受賞

「公益財団法人 農林業公社しんしろ」が、担い手育成部門で令和3年度愛知農業賞（あいちアグリアワード）を受賞しました。審査員長の竹谷教授から「高齢化と過疎化による担い手不足を解消するため、平成24年から積極的に地域外から新規就農を志す若者27名を受入、その内24名が地域に定住し、地域の主力作物（トマト・イチゴ・ホウレンソウ）の農業生産をリードする存在までに育成したことは評価できる」と功績の説明がありました。

受賞後、「新城市独自の新規就農支援体制」と題し、農林業公社しんしろの戸田氏が記念講演し、「新規就農者の高い定着率のために、希望者の募集から就農後まで長期的にサポートする仕組み」についてパワーポイントで発表を行いました。



表彰式の様子

## 小ギク、バラ受け選花が好評

令和3年度も小ギクのバラ受け選花が新城市二本松にある共同選花場で実施されました。これは、小ギクの需要期である8月盆と9月彼岸向けに出荷するにあたり、生産者の出荷調製作業に係る労力を軽減する目的で、平成27年から実施されています。令和3年度は10戸が利用し、20万本（総出荷本数の約51%）が出荷されました。利用者からは「収穫したあと選花場まで持って行くだけでよく、とても重宝している。」という声があり、非常に好評でした。農業改良普及課は、今後もバラ受け選花が継続して行われるよう、利用者の安定出荷や品質向上に向けて支援していきます。

小ギク新規生産者を関係機関・団体と連携して募集した結果、令和4年度に10名が栽培にあらたに取り組むことになりました。農業改良普及課は、新規栽培者の技術習得に向けて支援していきます。



共同選花場の様子

## 新城農業者のつどいを開催

新城市では、農業経営士協会新城分会、農村生活アドバイザー協会新城分会、農村輝きネット・しんしろ、新城青年農業士会、新城市4Hクラブの会員が一堂に会し、「新城農業者のつどい」を毎年開催しています。

令和2年はコロナ禍のため中止しましたが、今年は万全の対策を講じて、12月2日（木）に設楽町に本社がある関谷醸造株式会社の「ほうらいせん吟醸工房」にて酒造り体験を行いました。当日は関係者も含めて24名が参加し、酒蔵の見学から酒造りの講義、実際に酒造りの体験まで行い、和気あいあいとした雰囲気の中で農業者間の交流を深めることが出来ました。体験で作成したお酒は約2か月後に出来あがり、記念品として参加者に手渡される予定です。



酒造り体験をする会員